

「情報システムデータ標準分科会平成 25 年度報告書」のリリースについて

情報システムデータ標準分科会は、平成 25 年度活動報告書をリリースした。平成 25 年度は、ISO の新規・見直し規格の審議に加え、各国における標準化動向、IT 成熟度について網羅している。また JEMIMA 殿から IEC TC 65 のにおける標準化動向の寄稿を掲載した。

情報システムデータ標準分科会は、平成 17 年度に ISO TC184/SC4 国内対策委員会から委嘱を受けて、プラント関係国際標準の審議を行うため、エンジニアリング振興協会（現エンジニアリング協会）内に設置された。平成 25 年度は、TC 184/SC 4/WG 3/22 における ISO 15926 シリーズ等および TC 184/WG 6 における ISO 18101 の国際標準の新規・見直し審議・評価を行うことに加え、米国、欧州、韓国、中国およびわが国における標準化の動向をとりまとめた。さらには、CMMI (能力成熟度モデル統合、Capability Maturity Model Integration) と CEN Orchid WS Project の成果をベースにプロセス産業における IT 成熟度の調査をとりまとめた。また、(社) 日本電気計測器工業会 (JEMIMA) 殿からは、プラント業界と関連の深い IEC TC 65 における標準化動向にかかわる寄稿をいただいた。

■ 概 要

はじめに

1. 標準化対応状況
2. 標準化関連の動向モニタリング
3. IT 成熟度
4. ガイドライン
5. 分科会活動・成果の広報および普及
6. まとめ

■ 本件に関する問合せ先

一般財団法人 エンジニアリング協会
企画渉外部 浜谷 正樹
電 話 : 03-5405-7201

以上